

## DK タイプ 板ロッド棒 交換方法

アルスコーポレーション株式会社

2014 年 1 月 8 日更新

### <用意するもの>

- ・8mm のメガネレンチ、もしくはスパナ 2 本
- ・プラスドライバー
- ・マイナスドライバー
- ・プライヤー、もしくはペンチ
- ・軍手
- ・リチウム石けん基グリス ※ホームセンター様などで販売されています

### <交換手順>

※ご注意※ 取り外したネジやワッシャー、各部品は紛失しないようにご注意ください。



#### 1. ロアカバーを取り外す

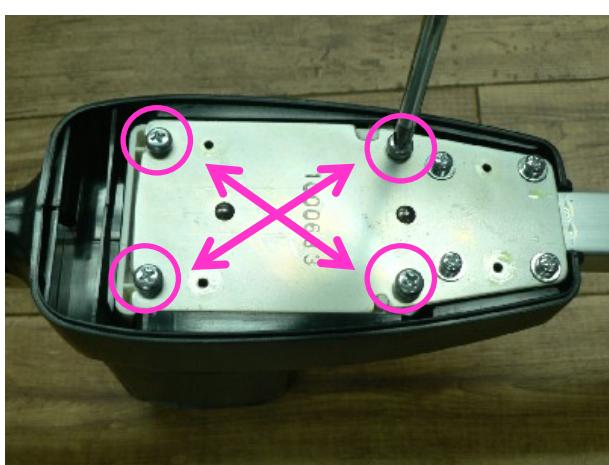
ロアカバーネジを取り外します(4 本)。

※取り外し時は、対角線上に順に外すようにしてください。

※プラスドライバー



ロアカバー・ロアカバースポンジが外れます。

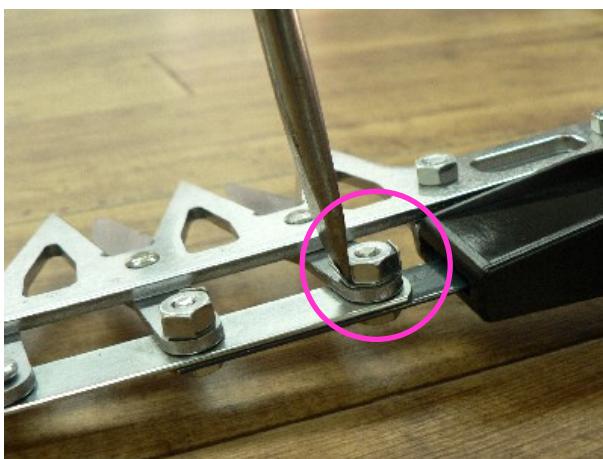
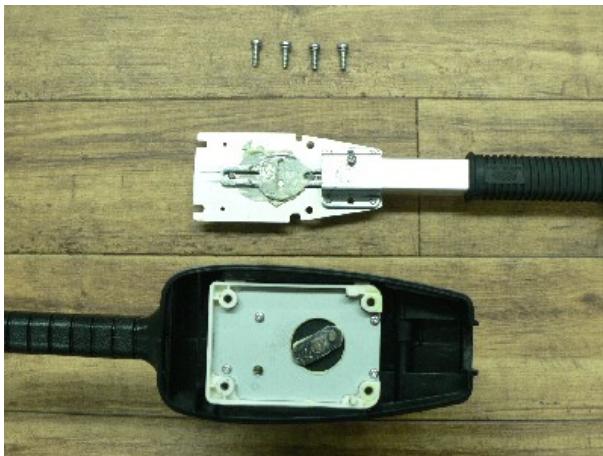


#### 2. 裏カバーを取り外し、モーター部とパイプ・刃部に分ける

裏カバーネジを取り外します(4 本)。

※取り外し時は、対角線上に順に外すようにしてください。

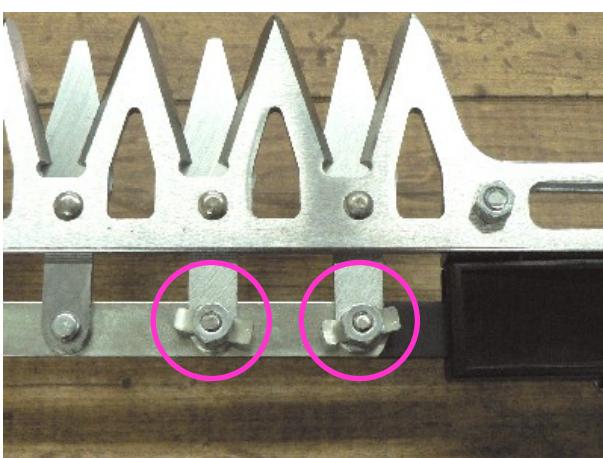
※プラスドライバー



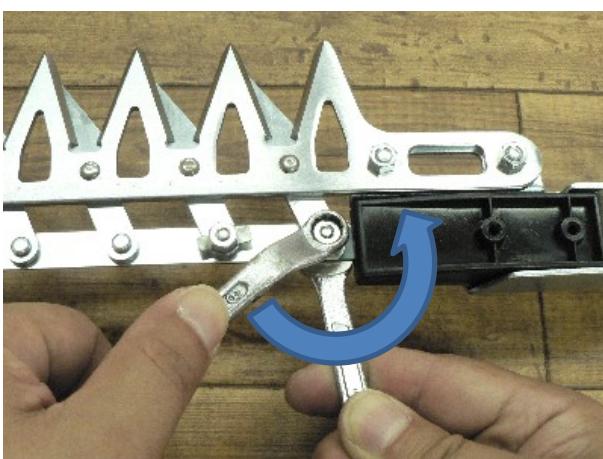
### 3. 可動刃取付けネジ・ナットを取り外す

可動刃取付ネジ・ナットを取り外します。

まず、マイナスドライバーを舌付きワッシャーの間にねじ込み、舌部分を押し広げます(2箇所 4枚)。



舌部分は 4 枚とも押し広げます。



ネジをレンチで抑え、ナットをもう 1 つのレンチ(もしくはスパナ)でゆるめます(2 箇所)。



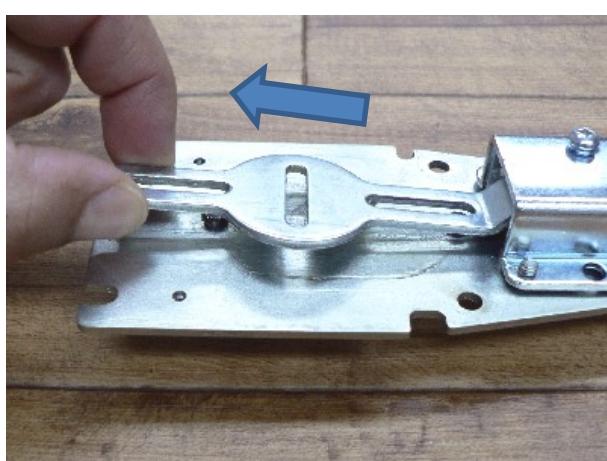
ネジ・ナット・舌付きワッシャーを取り外します。



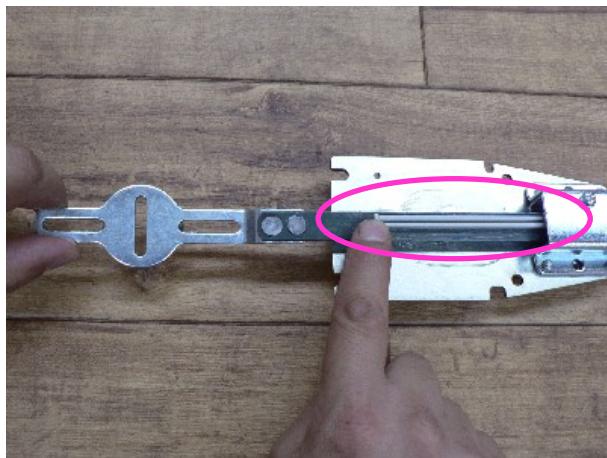
#### 4.板ロッド棒を取り外す

板ロッド棒を取り外します。

板ロッド棒には、2箇所のピンがはまっています。

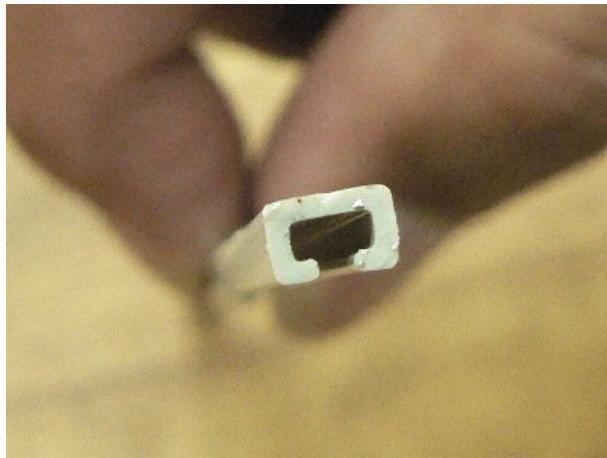


ピンのかかりを避けて、少し持ち上げるようにして引き抜きます。



※板ロッド棒を引き抜く際、レールが一緒に出てくる場合があります。もしも、レールが抜け落ちてしまった場合は、再び、内部にセットします。

(手順は次ページより)



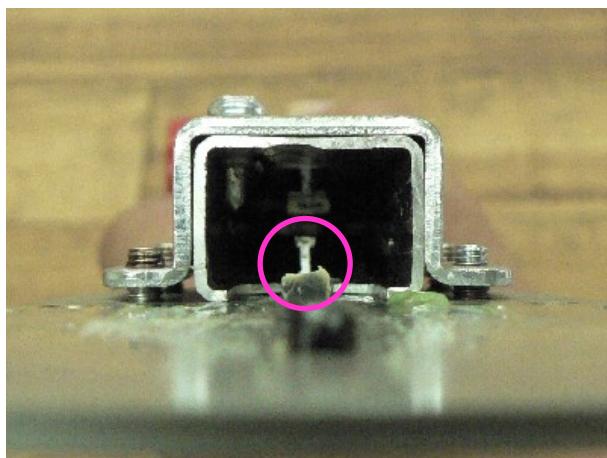
### ●レールのセット方法

レールには、きれいな面と、押しつぶされた面がありますので、きれいな面側から差し込みます。

←きれいな面



←押しつぶされた面

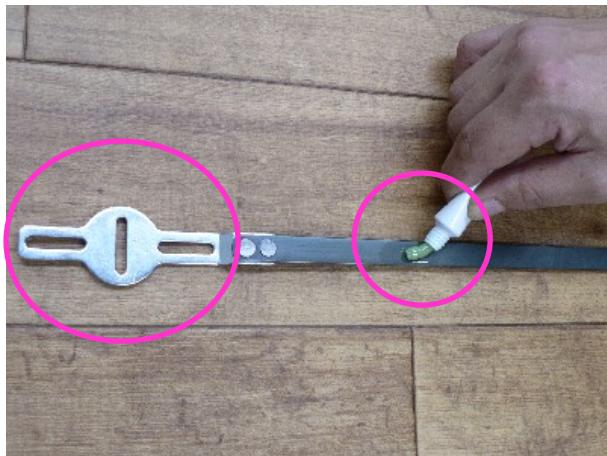


パイプ内部の突起部に、レールがかかるように差し込んでください。



### 5.古いグリスを拭き取る

板ロッド棒取付部に残った古いグリスは拭き取ってください。



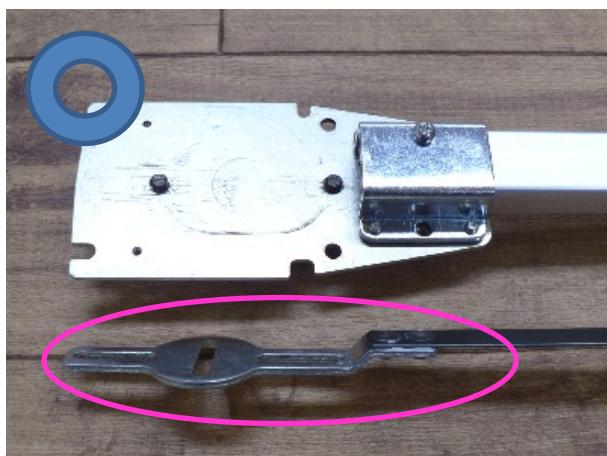
#### 6.板ロッド棒に新しいグリスを塗る

板ロッド棒の駆動部(両面)・中央部(両面)に新しいグリスを塗ります。

←グリスを塗りつける位置(2箇所)



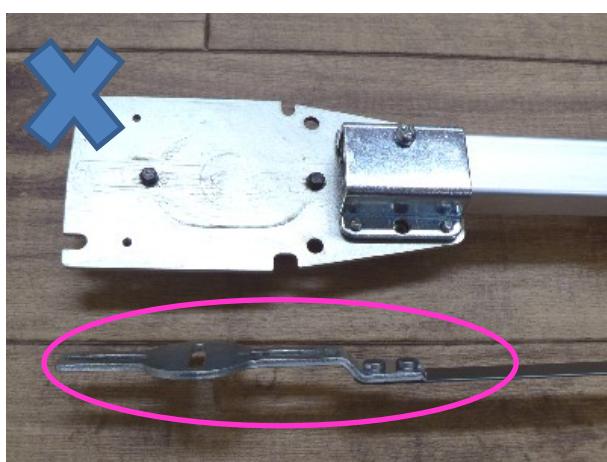
←グリスは伸ばしてください



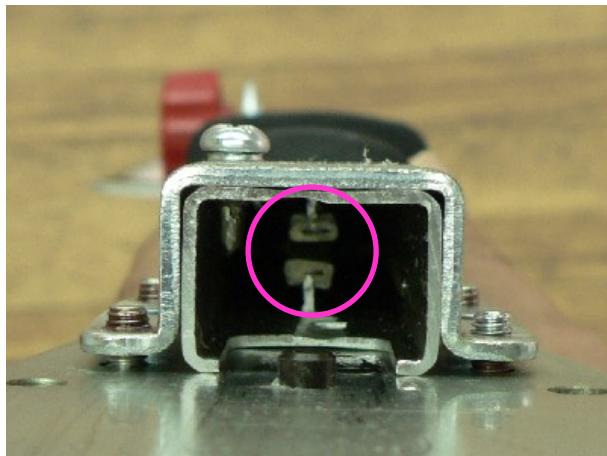
#### 7.板ロッド棒を取り付ける

板ロッド棒を取り付けます。

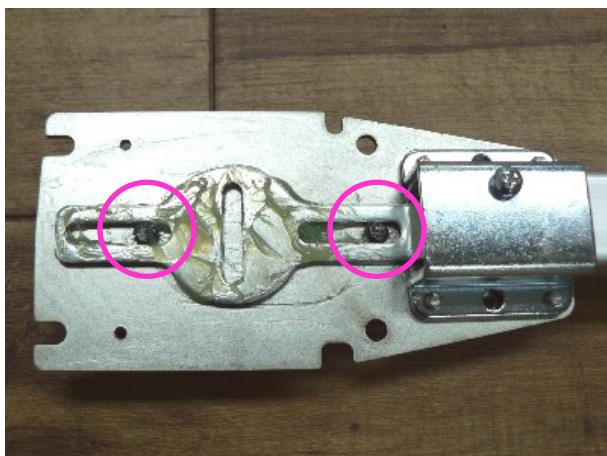
○正しい取付け向き



×誤った取付け向き



ロッド棒は、パイプ内のレールの間に通します。

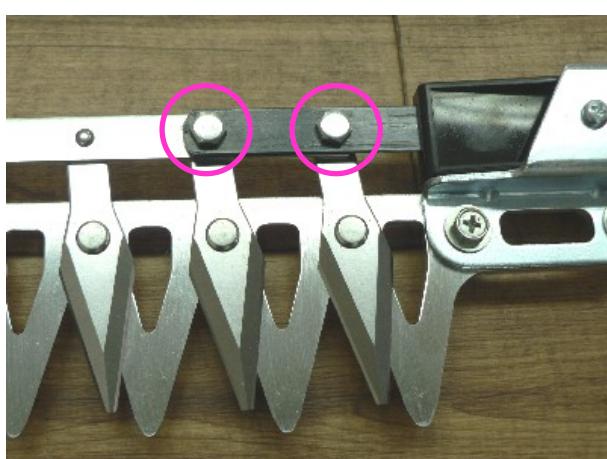


最後は、2箇所のピンが、ロッド棒の穴にはまるよう  
にセットします。



**8.可動刃取付けネジ・ナットを取り付ける**  
可動刃取付ネジ・ナットを取り付けます。

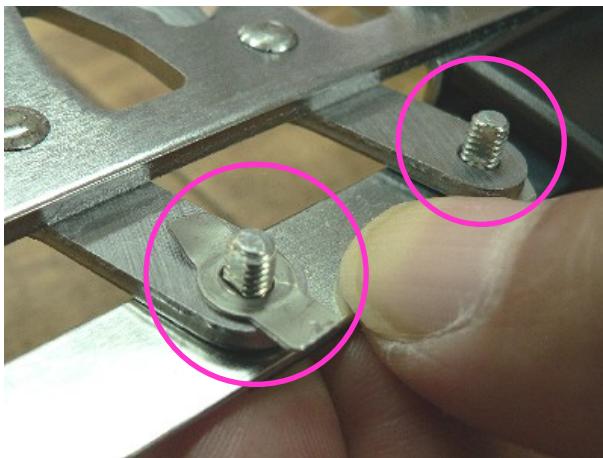
まず、可動板の穴・可動刃の穴・板ロッド棒の穴の3  
つを合わせます。



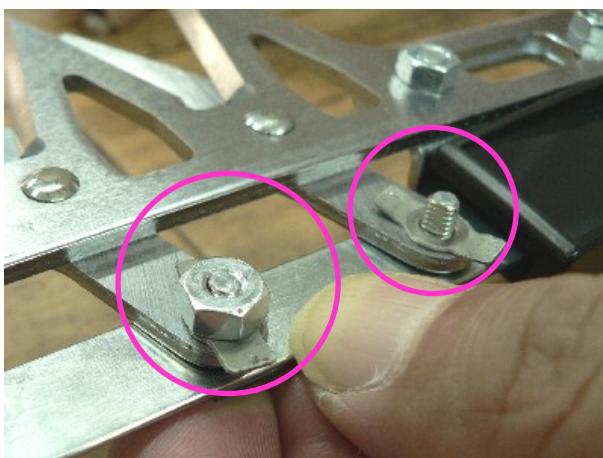
可動刃取付ネジを通します(2本)。



ネジが抜け落ちないように、指で押さえながら、刃を裏側に向けます。



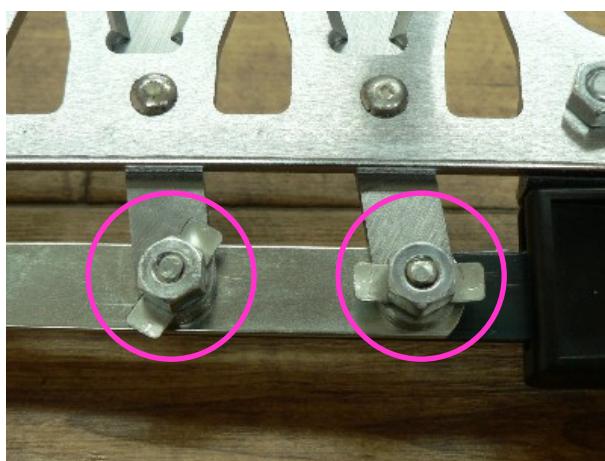
舌付ワッシャーをセットします(2箇所)。  
ネジは縦長の形になっています。舌付ワッシャーも縦長の形になっていますので、はまる位置でセットしてください。



ナットを手でまわせるところまでセットします(2箇所)。

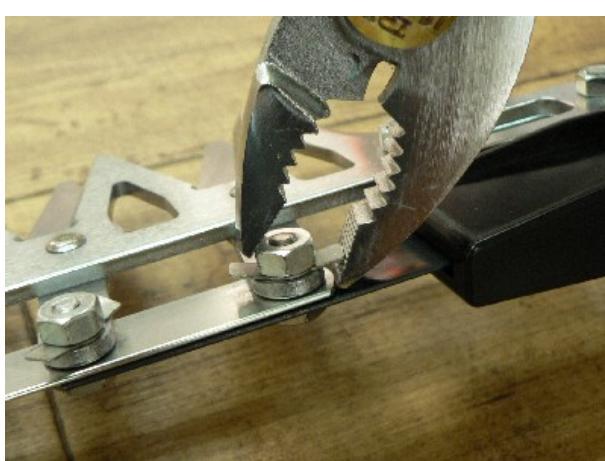


ネジをレンチで抑え、ナットをもう 1 つのレンチ(もしくはスパナ)で締め付けます(2箇所)。

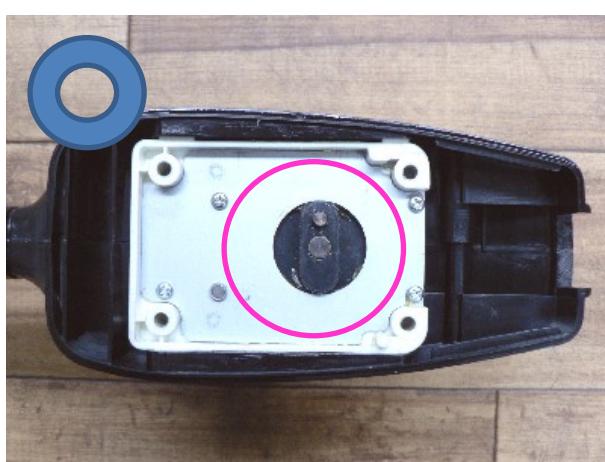


舌付きワッシャーの舌部分が、ナットの面に沿う位置まで締め付けます。

もしも、ずれている場合は、締め付ける方向で合うように調整してください。



舌部分をプライヤー、もしくはペンチでナットの面に沿うように持ち上げます(2箇所 4枚)。



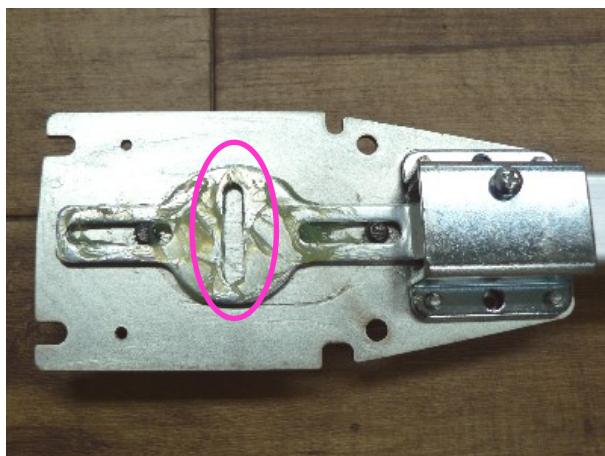
#### 9. パイプ・刃部とモーター部を取り付ける

まず、モーター側の駆動部を写真のような位置に合わせてください。

○良い位置



× 良くない位置



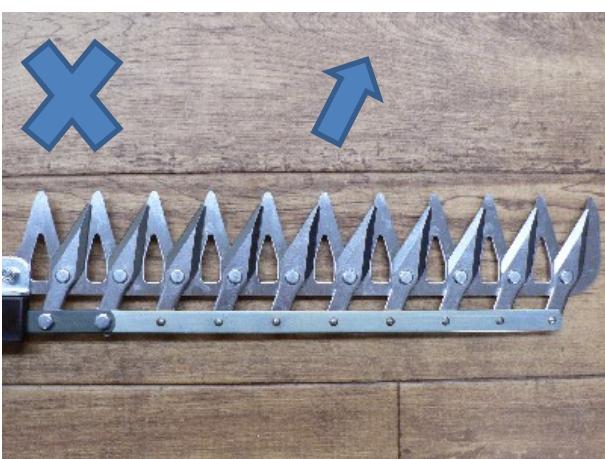
板ロッド棒の横穴に、駆動部のピンが入ることになります。



次に可動刃の位置を写真のような位置に合わせてください。

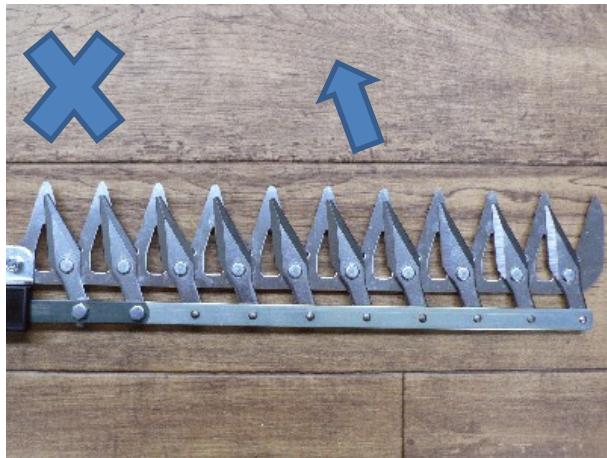
○ 良い位置

可動刃が固定刃の真ん中 있습니다。

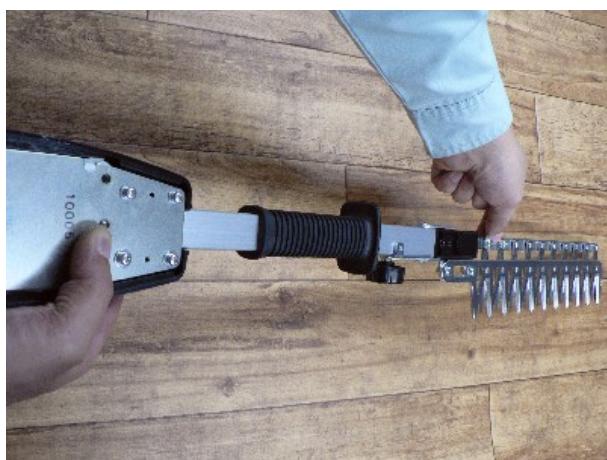


× 良くない位置①

可動刃が刃先側を向いています。



× 良くない位置②  
可動刃がモーター側を向いています。



底板部をモーターハウジングに軽く乗せ、可動刃を少し前後させると、板ロッド棒の横穴と、駆動部のピンがはまります。

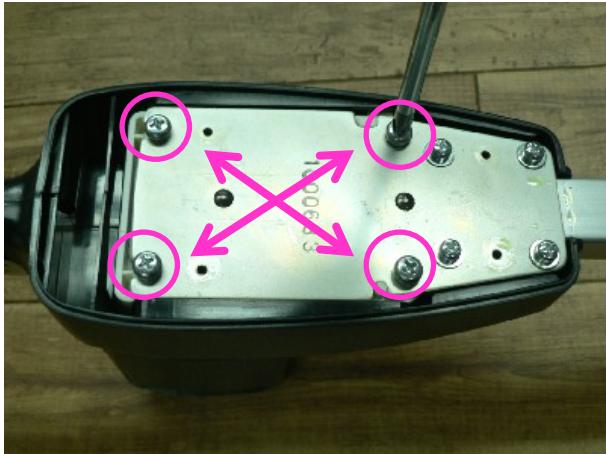


正しくはまっている場合、写真のように底板がグリップ本体にすき間なく接しています。



正しくはまっていない場合、写真のように底板が少し浮いたようになります。

正しくはまっていない場合は、駆動部と可動刃の位置を調整し、改めてセットし直してください。



## 10. 裏カバーネジを取り付ける

裏カバーネジを取り付けます(4本)。

※取り付け時は、対角線上に順に締め付けるようにしてください。

※まずは仮締めで、位置が決まったら本締めしてください。

※プラスドライバー



## 11. ロアカバーを取り付ける

内側にロアカバースポンジをセットし、ロアカバーを取り付けます(ネジ4本)。

※取り付け時は、対角線上に順に締め付けるようにしてください。

※まずは仮締めで、位置が決まったら本締めしてください。

※プラスドライバー

交換作業後は必ず動作確認を行ってください。

異音がなく、スムーズに作動するかどうかをご確認いただき、  
問題がなければ交換作業は完了です。

異音がしたり、スムーズに作動しない場合は、  
交換作業をもう一度やり直していただくか、  
原因がわからない場合には、弊社までお問合せください。

●お客さまサービス係:0120-833-202  
(月~金 9:00~12:00／13:00~17:00 ※祝日を除く)